



## 教員からみた学生生活の今

山口大学医学部医学科長

佐々木 功典 教授



後援会の皆様からは、日頃よりご支援賜りありがとうございます。今年度の後援会理事会におきましては、学生生活を中心に意見交換がなされ、学生の進級に関すること、国家試験対策に関すること、クラブ活動におけるキャンパス間移動バスの運行について、大学院への進学を奨励し将来の研究医を養成する目的で設置した「高度学術医育成コース」について、附属病院の状況について等、様々な意見交換がなされました。

私も医学科におきましても、貴重な保護者の皆様の見を参考とさせていただきながら、学生の教育に取り組んで参ります。



山口大学医学部医学科後援会

加藤 紘 会長

この後援会は、理事会があります。総会を設けておりません。入学式の際に保護者会と称して1年生保護者の皆様からいろいろなご意見を伺う機会がございますが、その他は、毎年開催するこの理事会で伺っております。

この理事会では、各学年の保護者理事の皆様から日頃からお気づきになっていることについて率直なご意見を伺いながら、大学理事等の大学関係者に説明を求める等の機会と位置付けております。

このたび、平成23年度理事会でのディスカッションの中で、保護者の皆様にお伝えしたい事柄を編集した会報としました。ご子息・ご子女の学生生活や山口大学医学部医学科及び医学部附属病院の現況をご理解頂けたら幸いです。

# 理事会での主な内容について

平成23年度 山口大学医学部医学科後援会理事会より、  
教員からみた学生生活等について

理事会の中で行われた懇談を一部抜粋して編集しています。

## 参加者



加藤 紘会長  
山口大学名誉教授



佐々木 功典教授  
山口大学医学部長  
山口大学医学部医学科長



岡 正朗教授  
山口大学医学部  
附属病院長



松山 豪泰教授  
山口大学医学部医学科  
教務部委員(委員長)



池田 栄二教授  
山口大学医学部医学科  
学生部委員(委員長)

## 山口大学医学部医学科 後援会事業について

### 高度学術医育成のための 奨学金助成について

医学教育助成費予算：1,000,000円

—— 加藤会長：平成23年度 医学科後援会新規科目がありますが、内容を教えていただけますか。

佐々木医学科長：まずは、去年の医学科後援会会報(第4回 H22.9.1)でお知らせいたしました【高度学術医育成コース】への奨学金助成について、説明いたします。(理事会時配付資料別紙2をご参照ください。)

対象は、基礎系・臨床系共に研究をする方を全て含めた育成・推進するコースで、研究マインドを増強させ、博士の学位を取得推進させるシステムでございます。このコースの趣旨としては、横のつながりを持ち、山口大学の研究レベルを高め、若い優秀な先生方に山口大学で研究していただきたい、また我々自身の後継者となっていただき、山口大学の研究を世界レベルに引き上げていただきたいという強い要望がありまして、我々はこれを是非進めて行きたいという思いであります。

—— 加藤会長：このコースは、全国的にも注目されている制度と伺っております。

後援会事業費科目の高度学術医育成のための奨学金助成、100万円という予算の部分だけではなく、医学部の制度自体のことなので、それを含めてお分かりいただければと思います。なかなかこの場でご理解いただくのは難しいかもしれませんが、学部在学中から大学院授業の受講及び大学院入試の一部が先取りでき、大学院入学・進学が有利になるシステムであると、理解しております。

佐々木医学科長：はい。

是非とも、今後の山口大学医学部医学科のために、医学科後援会様よりご支援賜りたいと思っております。

### キャンパス間移動用バス運行補助 (試行)について

クラブ活動助成費用予算：2,000,000円

—— 加藤会長：医学科後援会新規科目の二つめの内容を教えていただけますか。

佐々木医学科長：このたび、学生より従来から希望がありました吉田キャンパスと、小串キャンパス間の移動用バスの試行運行を行いたいと思ひ、後援会様へお願いした次第です。経緯としましては、医学部1年

生のクラブ活動の本拠地は、小串キャンパスのため、本部(山口市)と医学部(宇部市)との行き来が発生するために、今までは、主に先輩学生所有の車での行き来で対応してきました。クラブによっては帰りが遅くなり、12時を過ぎることもあり、経済的な面、安全面を考慮し、行きだけでも連れてきて欲しい、バス運行を開始して欲しいと学生より要望がありました。

このたび、バス運行の試行という形でクラブ活動のために活用していただき、実績を確認しつつ、しっかりしたデータを元に今後の定期運行を目標に大学本部と協議を進めて参りたいと考えております。

—— 加藤会長：ありがとうございました。今まで説明がありましたことについて、ご審議をお願いいたします。

保護者理事：本部と医学部のキャンパスの間を、先輩が後輩を車で送るといったことがあるようです。今まで事故などは起こらなかったのでしょうか？

池田学生部委員：事故の報告は私どもが知る範囲ではありません。しかしそれはまさしく“幸いにも”という感じだと思います。学生との懇談会で話を聞くようにしているのですが、やはり授業やクラブが終わった後で食事などをすれば帰りが遅くなり、夜12時を過ぎることもあるので、せめて連れて帰ってほしいという話は聞いています。しかしその時間まで運転手を待たせるのかということ、また難しい問題があると思います。

保護者理事：誰かが車を持っていればガソリン代などもかかりますし、よかれと思って車を出したら事故に遭うとなるとやはり親は心配です。バスを2往復するのか、1台で足りるのかなど問題はあるかもしれませんが、経済面、安全面を考慮していただいて、できればクラブの終わる時間までは運行してほしいです。

—— 加藤会長：確かによく今まで事故がなかったなと思います。これからアイデアを出していかないといけないですね。他に質問はありますか？

保護者理事：バスの運行はキャンパス間の移動ということですが、試合や遠征の場合はどうなりますか？運転に慣れてない子供が運転するのも心配ですが、先輩の車に同乗するのも心配です。



池田学生部委員：車での移動は確かに危険があります。以前はクラブの幹部は4~5年生でしたが、今では初心者マークが取れるか取れないかの、2年生後半~3年生で幹部を名乗る部もあります。また幹部よりも若い部員が多い末広がり型のクラブも危ないと思います。

保護者理事：友達に車を貸して事故に遭った場合の保険は、20歳以下であれば効かないのでしょうか。

池田学生部委員：18歳から全ての年齢で保険が適用されるものはありますが、22歳になるまでの保険料がかなり割高です。そこできちんと保険を利用できているかによりますが、これは、いろんなファクターが絡んでいる問題だと思います。

松山教務部委員：私はテニス部を担当していますが、遠征先で人身ではありませんが小さな事故を起こしたという話を聞いたことがあります。大学全体で取り組むのは難しいですが、クラブ単位で検討することは必要だと思います。ある程度余裕のあるクラブでは遠征時はマイクロバスを使用することも検討しますし、1日単位でかける保険を遠征期間かけて、その費用をクラブが持つなども考えています。

保護者理事：試合・大会時の移動の対応は、このキャンパス間移動用バス運行補助に入りますか。

池田学生部委員：今まで事故の報告は無いので良いのですが、学生部委員でも検討していこうと思います。事前の学生に対するアンケート調査でも、すべての学生が利用すると答えておらず、学生も丁度、運転したい年頃であり、バスを活用するか、乗るか乗らないかが、次の課題となっております。今後も、試合等の対応に関してはクラブ単位で検討していこうと思っております。

保護者理事：これから5・6年生になると実習で学外へ行くことが多くなりますが、学生自身が移動する際、何かあった時、医学部としてバックアップするシステムはあるのでしょうか。

佐々木医学科長：講義、実習の一環として、学業に関連しての移動はカバーしていると思います。

※学生教育研究災害傷害保険について  
入学手続き時にご案内しております学生教育研究災害傷害保険にて、急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。ただし「病気」はこの保険の対象となりません。

◎学生生活の手引き  
<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kouseika/tebiki/index.htm>

——加藤会長: それでは、大学理事の方から学生生活の状況などについて、学生部委員の池田理事及び教務部委員の松山理事からご報告をお願いしたいと思います。

また、岡医学部附属病院長もご出席頂いておりますので、附属病院の現況等もご報告頂きたいと存じます。

## 教員からみた学生生活等について

### 進級試験・成績評価について

池田学生部委員: 進級判定

につきましては、今年は2～3年生の留年生が多く出ました。物理的な問題としては留年生が増え、2年生の学生が全体的に多いのですが、実習等は滞りなく進んでいて、問題はないと思



われます。留年生について客観的な意見を述べますと、各先生方が頑張って進級させようと、評価に評価を繰り返し、成績提出の締切前日寸まで頭を悩ました結果であるということは、ご承知置きいただきたいと思

います。2～3年生の留年生が多く出た原因は、今後4～6年後のことを見越して、2年のカリキュラムが詰まっていたことが挙げられます。去年までは毎週、試験、試験で学生にとってはだいぶきつかったと思

います。しかし今年の2年生は、3年生と入れ替えられる科目は入れ替え、試験回数も減らし、だいぶ楽になりました。去年のカリキュラムや試験に関しては、学士入学との関係や、自己開発との云々のインターチェンジ等、4～5年後の長い展望を考慮した結果のことであります。

私個人的には、毎週、毎週試験だと大変で、学期の試験がどっと来た方が良く思うのですが、今の学生は大半が逆のようです。これまで塾に通い、目と耳で見て聞いて、こなしながらそれを引き出すというサイ

クルでやってきた学生が多いようです。理論的に物事を考えないで単答式の学生が多い。そのような学生がたまった本をいっきに読んで学期の試験をしたら、試験は通らないと思

います。が多かったように思えます。各担当の先生が学生に対して、こうなって欲しいという医師像や、「コレを知らなければマズイのではないか」というレベル等を考慮したうえでの結果であることをご了解頂きたいと思

います。クラブ活動も大切ですが、やっぱり人の命を預かる職業になる以上は、部活より学問だと思

います。もう既に今の学生は新人類なため、今の大人からみれば理解しがたい事は多々あり、うまい兼ね合いで、締め付けるところは締め付ける、まあ良いかというところは緩めるというやり方でうまくいく方向に変化してきていると感じます。

保護者理事: 子供が、「カリキュラムや試験が昨年より随分良くなった」と言っておりましたが、以前の先輩たちは本当に大変で、沢山の方が留年されたと聞いて

います。それで子供たちの中で、「先輩たちが留年した分、現役が落とされる」という噂があるみたいですが、そんなことってあるのですか、また人数が増えた分、実習の際に支障が出るということはあるのでしょうか。

池田学生部委員: 人数は増えた分、落とされるということは絶対にありません。

それと実習に障りが出るということもありません。

松山教務部委員: 今年の春の第105回 医師国家試験の結果は、新卒者99名中87名の合格、既卒者が10名受験して、8名の合格となっており、新卒者のみの合格率が87.9%、既卒者を併せると87.2%という数字が、今年の山口大学の成績でした。

山口大学は、全国の国公立大学の中でずば抜けて良いわけではなく、どちらかという下から数えた方が早いかなという合格率です。今年が悪いわけではなく、今までの合格率の比較表によると、悪い学年で83%、良い学年で90.8%の合格率で、だいたいその間を上下しています。

色々な理由の一つを挙げると、山口大学の医学生の中には、武勇伝があるようで、先輩が「6年生の秋から始めても十分、通った(合格した)」「年明けから始め



て十分通った(合格した)」というような遅く始めることに美徳を感じることがあるようです。

第1回目の業者の模擬試験となると、6年生の6月ぐら

いにありますが、山口大学はダントツの最下位です。その理由は、山口大学の学生が勉強していないからであり、他の大学はもっと早く始めているからです。そこで変な武勇伝を撤廃し、早く勉強に取りかからさせるためにも、今年から強制的に早めに国家試験の問題を勉強させました。5年生から6年生に上がる時に今までは何も関門がなかったのですが、過去3年間の国家試験の問題1100題を全部勉強させて、その中から問題を出しました。1名だけはこの試験に落ちましたが、春休み中に間違えた問題をずっとレポートを書かせるようにしました。これにより、こんなに早くに国家試験の勉強をすることはなかった学生たちが、皆必死に勉強するようになりました。直ぐに結果には結び付かないと思いますが、少し強制的に早く勉強をスタートさせる良い経験となりました。

山口大学では、カリキュラムに取り込んで国家試験対策を実施していますが、2・4年生のカリキュラムは苦しく、1・3年生は比較的緩いといったように、若干密度に違いがあるのが現状で、教務部委員でもこれを認識しているところ

です。2年生の授業を少し3年生へ上げ、4年生の授業を3年生へ一部下ろすというように、2、3、4年生を均てん化を図りたいと思っています。また1ヶ月の試験回数が、6回あるいは7回あるという月もあります。やはりこれはやり過ぎのため、まとめて出来る試験はまとめ、せめて4ヶ月のうちに試験は3回ぐら

いにして、月に4回ぐら

## 山口大学医学部附属病院について

### 病院機能強化の取り組みについて

岡病院長: 現在、病院の外

来玄関や病院のトイレは改修され、全体的に小綺麗になっております。周辺の整備も進んでおり、立体駐車場は500台を収容出来るようになりました。また病院の運営が順調で新しい機器も入れられるという状況です。この中、学生が大学病院に残っていただき、ここで研修医として学び、そして専門医として育てていただくのが私どもの望みであります。そして、マグネットホスピタルとい



【病院正門からの外観】



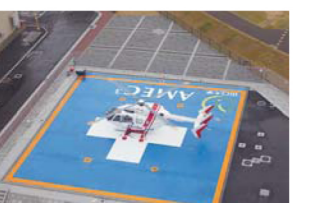
【立体駐車場外観】

いますか、他の卒業生まで大学病院に来て頂きたいと思っています。現在、新病棟の建設を検討しており、新しい病棟を増設し、現在は個室が少なく、教育の場が不足している事を解消し、この病院を教職員が生き生きと、誇りを持って働かれる病院機能を上げていくことを強く望んでおり、これに向かって邁進しております。手術室も増設予定であり、日本一の病院を作っていく予定ですので、学生の方々も楽しみにしてください。

そして、H23.1よりドクターヘリを就航しております。県民に勇気と希望を与えていると私は思っております。この度の大災害時にもいち早く出動しております。



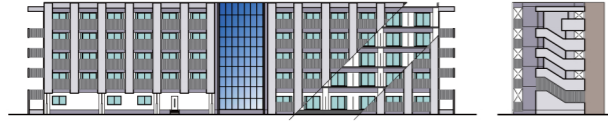
【外来玄関前ロータリー】



【ドクターヘリ&ドクターヘリポート外観】

## 山口大学医学部附属病院医療人育成センターの設立について

岡病院長：今年度中には、山口県の事業としまして、研修医の宿泊ができるワンルームマンション的な施設として50室を、そして、ゲストハウスを兼ね備え、そこで研修ができる地域医療研修センターを建設中です。

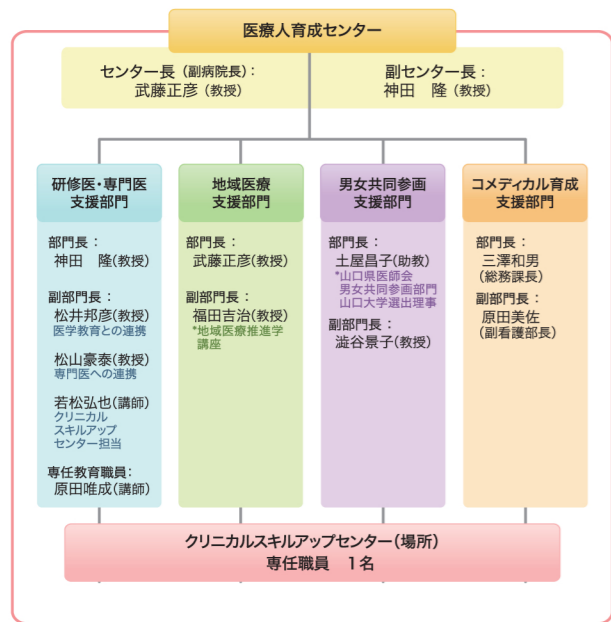


【完成予定図】

また、山口大学では、6年間の学生と、2年間の研修医そして、後の専門医を一貫して教育しようと医学部長と話し、9月にはキャリア支援センターの設置に目処をつけております。従来、卒後臨床研修センターだけでしたが、そこだけでは不足のことが多々ありますので、卒後臨床研修センターと専門医支援部門をキャリア支援センター(\*)の中に設け、地域医療支援部門を立ち上げる予定です。

\*キャリア支援センターは、医療人育成センターとしてH23.10.1に設立しました。

山口大学医学部附属病院医療人育成センター 組織図



## 山口大学医学部附属病院での研修について

——加藤会長：理事会の中では、保護者理事の皆様から進級判定・国家試験等いろいろご質問を頂きましたが、山口大学としては、結局、いかにいい医者を育てるか、そのための魅力ある教育プログラムとは・・・と考えるのですが。

岡病院長：山口大学で研修する研修医については、リスクや経済的負担を軽減するため、今年度から研修期間の2年間は、個人に付加する医師賠償保険を大学が全額負担することと致しました。

現在、学生の皆さんの半数以上は、一般病院を研修先として多く選択しています。昔は70%以上が大学病院でしたが、今は、50%以上が大学から離れています。一番問題だと考えているのは教育システムです。教育システムが一番すぐれているのが大学病院だと考えています。なぜかと言いますと、大学では、ずっと学生さんを教育していますよね。また、あらゆるスタッフの方が大勢います。

ところが、普通の病院では、毎日の診療に追われてます。その中でいかにも自分が仕事を任せてもらっているような気になり、スタート地点は良さそうですが、将来を考える気力がなくなって、応用能力がきかなく、新しい治療について行けなくなるという事例がどんどん増えています。そういう意味でも大学が果たす役割が重要となっています。

山口県内でも、他の病院に行かれても、大学に戻って研修医の間、勉強できるようにしました。是非とも子供さんに大学病院を進めて頂き、大学へ入局することがとても重要であることをお伝え頂きたいです。

大学で勉強せず後期研修と称して凄く安い給料で働かされ、その後、どこへ行ったか分からない医師、フェードアウトしている医師の話がたくさん聞きます。そういう意味でも、是非とも大学を活用して頂きたいと思っています。

### 編集後記

平成23年6月28日に理事会が開催されました。保護者理事の皆様から日頃お気づきになっていることへのご質問を多数頂きました。医学部長(医学科長)、病院長、関係先生からは、ご質問への大学の考え方や現在の状況などが報告されとても意義のある理事会となりましたので、皆様へお知らせさせていただきます。

理事会の質疑応答の内容は、一部、文言・表現を編集して掲載しております。

## 第67回医学祭開催にあたって

第67回医学祭実行委員会  
委員長

岡崎 光希



●医学祭HPはこちら  
<http://ymgc-med-festa2011.jimdo.com/>

**秋**の色も深みを増してくる今日この頃、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

常日頃から、医学祭に対し多大なご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。多くの皆様のお力添えにより、第67回医学祭を開催する運びとなりましたことを、実行委員一同、深く感謝申し上げます。

**さ**て、今年の医学祭は「SHOW YOUR POWER ~異彩な医祭~」というテーマを設けました。

“SHOW YOUR POWER”は直訳すれば“力を見せろ”という意味です。ただ単に“力”と言っても、決して一言で言えるものではなく、腕力などといった力もあれば、全力で物事にエネルギーを注ぎ込む力、そこから発する活力、というように様々な力があります。

医学部は他学部と離れ、色々な意味で狭い範囲で勉学に励んでいます。このテーマには、そんな状況からも言えることですが、積極的に我々医学部の学生が持つ“力”を周りにみせていこう、という意味が込められています。

**今**年の3月、東北地方を中心に大規模な震災があり、多くの尊い命が奪われました。

私たちは医学を学び、国家試験を合格すれば医師・看護師・検査技師となりますが、その時初めて命と向き合う医療者になるわけではなく、人格など「医療者の心」は学生の間に養っていきます。私たちはただ単に活気ある祭としてだけでなく、医学部ならではの医療や命の尊さなど日々医学を学んでいるが故に発信できることを、他の祭とは一味違った“異彩な”祭として、地域社会へ私たち学生の“力”をみせようと思っています。

**ま**た、今年の医学祭では、関係者だけでなくご来場いただく一般の方々に楽しんでいただける企画がたくさんあります。新しい企画といたしましては、今年1月より運航を開始し県全域で活躍しているドクターヘリ、山口県の災害時対策や放射能についての展示があります。

また、毎年好評のライブやお祭り企画などのステージイベント、救急医療体験やエイズカフェなどの体験型イベントも、各企画者を中心に試行錯誤を繰り返しさらに内容の濃い新しいものとなっております。

**最**後になりましたが、この第67回医学祭の実行委員長を務めさせていただけたこと、たくさんの貴重な経験をさせていただけたことを本当に嬉しく思っております。先生方をはじめ医学祭をご支援くださった皆様に心より感謝しております。

私たちは医学祭開催にあたり、日々、皆で楽しみ悩みながら企画・準備を進めてまいりました。

是非ご来場いただき、様々な企画を通して私たち学生の“力”を感じ、医学祭を心ゆくまで楽しんでいただければ幸いです。



【医学祭風景】



# 第67回 医学祭 企画内容



## LIVE

日時：11月12日(土) 15～17時  
会場：お祭り広場

今年はガガガSPを迎え、ライブを行う予定です。  
入場は無料となっておりますので、パワー溢れるパフォーマンスをぜひお楽しみください。

## 一般講演

日時：11月12日(土) 12～14時  
会場：第3講義室(講義棟C)

一般講演ではテレビなどで活躍されている内科医のおおたわ史絵先生をお招きして講演していただくことになりました。  
たくさんの方のお越しをお待ちしております。

## ドクターヘリ展示

日時：11月12日(土)、13日(日)  
会場：13～15時

今年1月より運航開始したドクターヘリの展示を行います。  
ヘリポートの中で、救急の第一線で活躍するドクターヘリの活動を聞いてみてください。  
当日10:00より整理券配布を行います。

## コメでいから

日時：11月13日(日) 終日  
会場：医心館1階

保健学科の学生が主体となり、コメでいからを開催します。  
私たちコメディカルが普段どのようなことをしているのか、さまざまな企画を通して知って頂けたらと思っています。  
たくさんの方の参加をお待ちしています。

## 救急医療体験

日時：11月12日(土)、13日(日) 終日  
会場：実習棟A 2階

AEDや胸骨圧迫などの心肺蘇生法の講習を行います。  
ニーズやご都合に合わせて最短受講時間15分から個別に対応します。初めての方も以前に講習を受けた方もいざという時のためにお気軽にお越しください。

## 骨髄バンク

日時：11月13日(日) 10～15時  
会場：医心館前テント

骨髄バンクパートは、医学祭2日目に医心館2階でドナー登録会を行います。医学祭を通して、1人でも多くの方が骨髄バンクを理解し、ドナー登録して下さることを願っています。  
興味のある方は是非お越し下さい。

## エイズカフェ・抗体検査

日時：11月12日(土)、13日(日) 終日  
会場：医心館1階、第2講義室(講義棟A)

エイズと自分を知ろうということを中心にエイズについての知識を広め、検査を受けることを推奨していく予定です。  
ドーナツとジュースを用意して待っていますので気軽にお立ち寄りください♪

## ジャズカフェ

日時：15時～  
会場：医心館1階

今年も僕たち軽音楽部は、ジャズ演奏で医学祭に色を添えます。  
コーヒーを飲みながら、素敵な時間を過ごしてみませんか？皆さんが来られるのを心からお待ちしております。

## 学生バンド

日時：11月12日(土) 9～12時  
会場：お祭り広場

学生有志のグループによるバンドのライブです。  
練習の成果をご覧ください。

## 作品展示

日時：11月12日(土)、13日(日) 終日  
会場：医心館2階  
※( )内はそれぞれの展示場所を記す

### 医学展示(ロビー)

今年の医学展示は「放射線」というテーマで展示を行います。この展示を通じて、放射線のことを多くの人に知ってもらいたいと思います。誰でも自由に観覧することができますので、お気軽にお越し下さい。

### 美術展示(談話室)

今年も美術部は、部員の作品を展示します。油絵や写真、書道など、幅広いジャンルの作品をごゆっくりお楽しみください。おいしいコーヒーもありますので、休憩にもご利用ください

### 国際医療研究会展示(多目的室)